

循環コミュニティバスの見直し案について

1 運行目的

循環バスの運行目的に「生活利便性の向上」を加える。

2 見直しの方向性

- ・バス停にいれば乗車できる「定時定路線」による運行の「維持向上」
- ・利用の多い「海田市駅への速達性向上」
- ・現行のサービスエリアをできるだけ維持しつつ「公共交通空白地域を補完」

3 見直しの具体的対応方法

- ・現行のサービスエリアをできるだけ維持したうえで、瀬野川左岸・右岸でルート进行切り分ける。
- ・海田市駅への速達性を向上するため、現行のバス車両に加え、小型車両（利用定員 9 名）を導入し、2 台体制での運行を行う。
- ・病院への通院等のため県道矢野海田線を通過するルートにする。
- ・便数を現状の 8 便から 9 便に増便する。
- ・土日を運休とし、運行費用を抑制する。

4 ルート案の詳細 別図参照

（青ルート、右岸中心ルート）

- ・運行時間 約 40 分
- ・駅北口のバス停を駅北口正面に移設
- ・真田会館付近にバス停を新設
- ・国信二丁目に延伸し、環境センター下で転回。転回所及び中途にバス停を新設
- ・県道矢野海田線を通過
- ・海田西中学校北門バス停をつくも保育所付近に移設

（赤ルート、左岸中心ルート）

- ・運行時間 約 43 分
- ・海田市駅南口から大正交差点を經由し、海田小学校前を通過、既存の循環バスルートを運行
- ・総合公園野球場の下付近にバス停を新設
- ・県道矢野海田線を通過

5 運賃について

運賃については、町内路線バスの運賃（170 円から 240 円）を考慮し 100 円から 150 円に改定をする。

6 町負担額等について

期間	利用者推計（人）	町負担額推計（円）
運行開始後 1 年目	46, 000	20, 700, 000
運行開始後 2 年目	53, 000	19, 700, 000